

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2020年10月28日

東

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所
 コード番号 3658 URL <https://corp.ebookjapan.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 将峰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 阿部 逸人 (TEL) 03 (3518) 9544
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,376	46.2	645	76.6	646	78.7	444	79.3
2020年3月期第2四半期	9,834	46.9	365	△19.0	361	△19.4	248	163.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	78.99		77.64					
2020年3月期第2四半期	44.52		43.43					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,676	4,250	39.5
2020年3月期	8,971	3,800	42.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,215百万円 2020年3月期 3,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	31.6	950	19.8	950	19.5	650	19.3	115.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	5,710,600株	2020年3月期	5,704,600株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	80,470株	2020年3月期	80,470株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	5,629,867株	2020年3月期2Q	5,572,474株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで2020年10月28日(水)に開示し、同日、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

当社は、2020年10月29日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会(ライブ配信)を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く状況において、国内の緊急事態宣言は解除されたものの、外出自粛の傾向は依然として残り、経済活動への影響など景気の先行きへの不透明感は拭えておりません。

出版業界においては、2020年(1月～6月期)の紙の出版市場が前年比2.9%減の6,183億円、電子出版市場が同28.4%増の1,762億円となり、紙と電子を合算した出版市場は、同2.6%増の7,945億円で前年比プラス成長となりました。当社が主力と位置付ける電子コミックの推定販売額は同33.4%増の1,511億円となり、大きく伸長しております(出所:公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所「出版月報」2020年7月号)。

当社はこのような事業環境のもと、従業員等の安全を確保するため在宅勤務を中心とした働き方に移行しつつ、引き続き、2016年6月に資本業務提携したヤフー株式会社(以下、ヤフー)との事業連携を積極的に推進しております。当社とヤフーが協力して運営する電子書籍販売サービス「ebookjapan」において、Yahoo! JAPANサービスとの連携施策を強化したほか、スマートフォン決済サービス「PayPay」と連携した大型キャンペーンを実施するなど、新規ユーザー獲得のためのマーケティング活動、既存ユーザー向けの販売促進活動を積極的に行ってまいりました。また、クロスメディア事業においても、「PayPayモール」をはじめヤフーグループの諸サービスとの連携を積極的に推進するとともに、サービス品質並びに顧客満足度の向上に努めました。

以上の取り組みを行った結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高14,376,586千円(前年同期比46.2%増)、営業利益645,308千円(前年同期比76.6%増)、経常利益646,964千円(前年同期比78.7%増)、四半期純利益は444,700千円(前年同期比79.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 電子書籍事業

当第2四半期累計期間は、当社とヤフーが協力して運営する電子書籍販売サービス「ebookjapan」において、「PayPay」と連携した大型キャンペーンを展開しました。具体的には、夏休み期間をターゲットに「ワクワクペイペイ」、9月には「ペイペイジャンボ」等の販促企画を実施し、ユーザーの獲得に努めました。この他にもYahoo! JAPANトップページと連携した販促キャンペーンの実施や、Yahoo!プレミアム会員向けのポイントキャンペーンを拡充するなど、ヤフーとのグループシナジーの強化に努めました。加えて、巣ごもり需要による市場ニーズの高まりが継続し、新規ユーザー数が増加しました。プロダクト面ではアプリの機能改善を図り、ユーザーの獲得、継続並びに満足度の向上に努めました。

以上の結果から、当第2四半期累計期間の売上高は、11,117,250千円(前年同期比45.9%増)となりました。

② クロスメディア事業

当第2四半期累計期間は、引き続き「PayPayモール」や「Yahoo!ショッピング」をはじめとした大手ECモールにおける紙書籍のオンライン販売に注力し、取扱高が拡大しました。また、需要の拡大に対応するため、さらに在庫の拡充等を図り、ユーザー満足度の向上に努めました。

以上の結果から、当第2四半期累計期間の売上高は、3,259,336千円(前年同期比47.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、10,676,410千円(前事業年度末比1,704,552千円増)となりました。

総資産の内訳は、流動資産が9,275,452千円(同1,724,461千円増)、固定資産が1,400,957千円(同19,908千円減)であります。流動資産増加の主たる要因は、売掛金が792,721千円、現金及び預金が459,892千円及び流動資産その他が469,900千円増加したことによるものです。固定資産減少の主たる要因は、ソフトウェアが16,051千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、6,426,405千円(同1,255,056千円増)となりました。主たる要因は、未払金が694,568千円、買掛金が544,875千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、4,250,004千円(同449,496千円増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、4,866,768千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は591,245千円(前年同期は572,798千円の獲得)となりました。この主な資金増加要因としては、税引前四半期純利益の計上により647,137千円、仕入債務の増加額544,875千円及び減価償却費81,242千円があった一方、主な資金減少要因は、売上債権の増加額792,721千円、法人税等の支払181,189千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は104,784千円(前年同期は89,826千円の使用)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出が105,394千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は26,400千円(前年同期は211,481千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出30,000千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月24日に「2020年3月期決算短信」で公表いたしました2021年3月期の通期個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年10月28日に公表いたしました「通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,406,876	4,866,768
売掛金	2,569,053	3,361,774
商品	756	1,027
仕掛品	96	1,727
貯蔵品	74	101
その他	574,189	1,044,089
貸倒引当金	△53	△36
流動資産合計	7,550,991	9,275,452
固定資産		
有形固定資産	233,917	218,097
無形固定資産		
ソフトウェア	774,906	758,855
その他	222	199
無形固定資産合計	775,129	759,054
投資その他の資産		
繰延税金資産	97,639	113,616
その他	314,179	310,188
投資その他の資産合計	411,818	423,805
固定資産合計	1,420,865	1,400,957
資産合計	8,971,857	10,676,410
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,188,890	3,733,766
1年内返済予定の長期借入金	60,000	30,000
未払金	1,209,249	1,903,817
未払法人税等	205,924	243,013
役員賞与引当金	—	8,861
ポイント引当金	3,545	4,089
その他	429,934	428,930
流動負債合計	5,097,544	6,352,478
固定負債		
資産除去債務	73,804	73,926
固定負債合計	73,804	73,926
負債合計	5,171,348	6,426,405

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,504	902,304
資本剰余金	1,186,136	1,187,936
利益剰余金	1,881,289	2,325,989
自己株式	△200,452	△200,452
株主資本合計	3,767,477	4,215,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	138	138
評価・換算差額等合計	138	138
新株予約権	32,892	34,088
純資産合計	3,800,508	4,250,004
負債純資産合計	8,971,857	10,676,410

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,834,364	14,376,586
売上原価	6,227,697	8,993,692
売上総利益	3,606,666	5,382,893
販売費及び一般管理費	3,241,201	4,737,584
営業利益	365,465	645,308
営業外収益		
受取利息	14	17
投資事業組合運用益	—	457
助成金収入	—	1,423
不要書籍売却益	56	—
自動販売機収入	198	19
その他	0	16
営業外収益合計	269	1,933
営業外費用		
支払利息	260	92
為替差損	871	168
支払手数料	2,600	—
投資事業組合運用損	23	—
その他	—	16
営業外費用合計	3,755	277
経常利益	361,979	646,964
特別利益		
新株予約権戻入益	319	172
特別利益合計	319	172
税引前四半期純利益	362,299	647,137
法人税、住民税及び事業税	116,560	218,413
法人税等調整額	△2,322	△15,976
法人税等合計	114,238	202,436
四半期純利益	248,060	444,700

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	362,299	647,137
減価償却費	156,669	81,242
株式報酬費用	208	1,368
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,121	8,861
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△836	544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	△17
新株予約権戻入益	△319	△172
受取利息	△14	△17
支払利息	260	92
為替差損益(△は益)	84	168
投資事業組合運用損益(△は益)	23	△457
売上債権の増減額(△は増加)	△122,581	△792,721
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9	△1,930
仕入債務の増減額(△は減少)	446,274	544,875
その他の資産・負債の増減額	△175,664	283,535
小計	670,472	772,509
利息の受取額	14	17
利息の支払額	△260	△92
法人税等の支払額	△97,427	△181,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,798	591,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,340	△1,852
無形固定資産の取得による支出	△95,495	△105,394
投資有価証券の取得による支出	—	△799
出資金の分配による収入	135	457
投資事業組合からの分配による収入	8,703	2,805
その他	171	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,826	△104,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
株式の発行による収入	18,600	3,600
自己株式の取得による支出	△200,081	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,481	△26,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	△168
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	271,405	459,892
現金及び現金同等物の期首残高	3,580,103	4,406,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,851,508	4,866,768

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。